

安心立命(アンシンリツメイ)天命に任せ  
てつまらぬことに心配しないこと。

暗中摸索(アンチュウモサク)模は摸が本  
字。手さぐり。(基礎編莫の項参照)暗  
やみの中を手さぐりで捜すことから、  
どうしてよいかわからずにいろいろや  
ってみることを言う。

意气軒昂(イキケンコウ)軒は家ののき。

意气高く上がること。意气<sup>ショウテン</sup>衝天、意气  
揚揚などの語もある。

異口同音(イクドウオン)口は異なるが言う  
ことは同じ、意見が一致すること。

一攫千金(イッカクセンキン)莫大な財産  
を一つかみにすること。

因循姑息(インジュンコソク)因は依る、循  
は従う。改めなければならぬのに旧<sup>ふる</sup>

い慣例に従って一時のがれをしてそ  
の場をしのいでいること。姑はしばらく。  
息は休む。

有為転変(ウイテンペン)物事が以前とす  
っかり違ってしまったことを言う。

右顧左眄(ウコサベン)右を見たり、左を  
見たり。自信がなく、決断しかねるとき  
に用いる。左顧右眄とも言う。

荣耀<sup>クワク</sup>栄華(エイヨウエイガ)はでなおごりを  
すること。

会者定離(エシャジョウリ)会う者は必ず離  
れる意。人生の無常を説いたことば。

温故知新(オンコチシン)古い昔の事を研  
究して、そこから新しい見解や知識を  
得ること。論語のことば。

偕老同穴(カイロウドウケツ)夫婦仲良く、

生きてはともに年をとり、死んではい  
っしょに葬られること。

合縦連衡(ガッシュウレンコウ)合縦は縦に  
合同すること、連衡は横に連合するこ  
と。戦国時代、蘇秦<sup>ソシン</sup>は南北(合縦)に  
同盟して秦に対抗することを説き、張  
儀<sup>チヨウギ</sup>は秦と結ぶことを説いた。これらを  
<sup>ジュウオウカ</sup>“縦横家”と言う。

我田引水(ガデンインスイ)我が田に水<sup>わ</sup>  
を引く、つまり、自己の利益になるよう  
に言ったりしたりすること。

画竜点睛(ガリョウテンセイ)睛はひとみ。  
竜を描いて最後にひとみを書き入れ  
たら、画竜が天に上ったということから  
“最後に加えるたいせつな仕上げ”を  
言う。例 画竜点睛を欠く